

明治二十五年七月

臨時縣會議事錄

山口縣臨時縣會議事錄

七月廿六日

午前十時十分議長縣實政二部君議員ヲ事ヲ籌備ニ整列ス次ニ知事原保太郎君副議長各官  
ヲ事ヲ入場シ議長ニ向ヒ述テ曰ク本日ヨリ臨時縣會ヲ開クセテ此節開會ヲ要スル所以  
ハ己ニ各員ニ通知シ彼ヲニ通シ明治廿五年度小學校審判基金豫算并ニ同基金豫  
算案外二件清冊ノ案ノハナリ就中第四號國道道中改修事業延期ノ件ハ該案ニモ説明シ  
テノ議ニ先年縣會ニ清冊ニ其答議ヲ可認シ奉ル廿六年度ノ豫算案ニ編入スル等ヲ以テ  
右ノ項目延期スルノ得策ヲモテ成セリ而シテ該事業ナルヲ願ハ大工事ナルヲ以テ隨  
テ老弱ノ費金ヲ要シ己ニ主務大臣ニモ工費ノ補助ヲ請求シ置キテ目下國稅地方稅共  
翌年度豫算編製ノ時ニ際シ先テ本件ヲ決定シ置キテハ彼是ノ影響ヲ影ナシテセルヲ  
以テ此案基ノ額ニモ任ツス茲ニ諸君ヲ召集スルノ已ムヲ得キニ出ツル次第ナリ  
ハ旁々稅捐思給基金案其他モ本會ニ付スルモノハナキニ此邊了知シテ精誠ヲ充テ  
テ議ニトテ諸議案及清冊案ヲ議長ニ交付ス議長縣實政二部君ニ之ヲ受領シテ審議可也

議決ノ上開申スヘキ旨ヲ述ブ斯クテ知事始メ縣官選擧ス諸長ハ各議員ニ席欠ノ籤ヲ抽カレシム其欠席議員ハ例ニ依リ書記之ヲ代抽ス本日出席并ニ不參議員及ヒ其番號左ノ如ク

出席三十二人

欠席

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 佐波郡 (山内文次郎君)  | 熊毛郡 (秋良貞臣君)  |
| 赤間關市 (三井忠藏君)  | 豊浦郡 (多根辨介君)  |
| 大島郡 (藤井楳太郎君)  | 玖珂郡 (山本六彦君)  |
| 赤間關市 (内田吉三郎君) | 見島郡 (菊屋剛十郎君) |
| 見島郡 (久保田庄次郎君) | 阿武郡 (松野隼通君)  |
| 阿武郡 (西村禮作君)   | 玖珂郡 (村上登君)   |
| 豊後郡 (林仙輔君)    | 佐波郡 (林貫一君)   |
| 阿武郡 (町田義助君)   | 熊毛郡 (三輪傳七君)  |
| 一 番           | 議長 雜賀敬二郎君    |

- |      |              |
|------|--------------|
| 二 番  | 繩田藤介君        |
| 三 番  | 三隅城介君        |
| 四 番  | 常置委員長 本間源三郎君 |
| 五 番  | 磯部孝一君        |
| 六 番  | 磯部十藏君        |
| 七 番  | 藤井楳太郎君       |
| 八 番  | 常置委員 世良徳壽君   |
| 九 番  | 市原儀傳太君       |
| 十 番  | 山本六彦君        |
| 十一 番 | 林達之允君        |
| 十二 番 | 徳田謙甫君        |
| 十三 番 | 常置委員 田原清平君   |
| 十四 番 | 塩貫一君         |

十五番	近藤慶一君
十六番	刀雨池三君
十七番	常置委員 菊屋剛十郎君
十八番	藤津正憲君
十九番	美福龍彦君
二十番	吉田惟一君
廿一番	河野郁太郎君
廿二番	上田實君
廿三番	松崎忠一郎君
廿四番	川邊時也君
廿五番	田邊誠一君
廿六番	波邊新君
廿七番	中島富太郎君

廿八番	村重泰治君
廿九番	熊谷高吉君
卅番	福田幹輔君
卅一番	常置委員 長尾三輔君
卅二番	藤本安三郎君
卅三番	赤島信與君
卅四番	福澄十藏君
卅五番	秋良貞臣君
卅六番	三輪傳七君
卅七番	山内文次郎君
卅八番	林一君
卅九番	林仙輔君
四十番	多根利介君

四十一番 村上 登君  
 四十二番 赤穴 顯 郎君  
 四十三番 町田 義 助君  
 四十四番 松野 敬 通君  
 四十五番 西村 禎 作君  
 四十六番 内田 吉三 郎君  
 四十七番 三井 忠 藏君  
 四十八番 久保田 庄次郎君  
 議長(雜賀敬二郎君)曰議事細則ハ前會決定ノ分チ其儘適用スベキ乎別ニ制定セントス  
 ルノ意見アリヤ○廿六番(渡邊新君)曰是レマテノ分チ其儘用ヒタレ  
 議長(雜賀敬二郎君)曰然ラハ只今廿六番ノ説ハ是迄ノ分チ其儘用セントナリ然レハ別  
 段意見ナシト認ムレ共ニ念採決セン同意ノ諸君ハ起立アレ  
 起立 全數

議長(雜賀敬二郎君)曰サレハ是迄ノ分チ其儘用ルコトハ決定ス  
 議長(雜賀敬二郎君)曰隨便ニ從ラテ先刻決定セシ席次ハ本細則ニヨリ抽籤セルモノト  
 做ス可シ此旨心得ヘフレタレ  
 コレニテ暫時休憩時ニ午前十時五分  
 同十一時二十五分着席  
 議長(雜賀敬二郎君)曰コレヲ明治二十五年度小學校教員恩給基金豫算議案ノ第一讀  
 會ヲ開クハ書記議案ヲ朗讀ス  
 一 金千貳百貳拾圓拾六錢  
 內譯  
 小學校教員恩給基金  
 市町村小學校教員納金  
 市町村納金

議長(雜賀敬二郎君)曰本案ニ對シ疑義アレハ此際質問アリタル  
 ○番外一番(風大冬前司也君)曰本案全体ニ就キ説明スヘキハ此小學校教員恩給基

金ノ豫算ハ明治廿三年法律第九十號ノ結果ニシテ其第十四條第一項ニ市町村ハ其市町村立小學校ニ在職スル正教員ノ給料額百分ノ一ニ當ル金額ヲ毎年其府縣ニ納ムヘキモノトス第二項ニ市町村立小學校正教員ハ其給料百分ノ一ニ當ル金額ヲ毎年其府縣ニ納ムヘキモノトストテ此兩項ニ依リ積リ金ヲ要スルナリ而シテ本案說明ニモアル通り廿五年即チ本年三月末リ調査ノ本縣正教員（正教員トハ是迄ノ調考名義ノモノニテ准教員トハモトノ授業生等ナリ）數六百三十七人ニシテ其俸給額六万千八圓アリ此納額六百拾圓八錢ナリ又此兩項ガ即第二項ノ市町村納金ナリシレバ此金額ハ即チ小學校教員ノ恩給ノ基金ニシテ別經濟ナリ此利子ニテ恩給ヲ支拂フモノナリ

○十二番（德田護甫君）及議長（雜賀敬二郎君）ヨリ質問アリ○番外一番（風大多和可也君）之ニ答辨ス

議長（雜賀敬二郎君）曰最早質問モナキヤニ見受ケラル若クハ次會ニ於テセフルモモ姑クナシカレハ本案ニ對シ二讀會ヲ開クヤ否ヤコ付意見ヲ述ヘラレシヤシテ常置委員諸君ハ此際本案ニ對スル委員ノ意見ヲ報道アリケレ

○四番（本間滋三郎君）曰本案ニ對スル常置委員ノ意見ヲ報道ス即チ原案ヲ可トス又御尋アレハ答フヘキ○十二番（德田護甫君）曰二讀會ヲ開クヤ可トス○十八番（藤澤正憲君）曰十二番ニ同意

議長（雜賀敬二郎君）曰採決スヘキ十二番同意ノ諸君ハ起立

起立 全數

議長（雜賀敬二郎君）曰二讀會ヲ開クコ決ス

議長（雜賀敬二郎君）曰明治廿五年度小學校教員恩給會豫算議案ノ一讀會ヲ開ク○書記 議案ヲ朗讀ス

一金拾四圓九拾八錢七厘

小學校教員恩給基金利子

○番外一番（風大多和可也君）曰支拂ノコトヲ一言スヘキ此恩給基金ハ矢張前述ノ廿三年法律九十號ノ結果ニ出ツルモノナリ該法律ノ第一條ヨリ第十三條ニ至ルマデハ支拂ノ額ヲモトメテ其支拂ノ目ハ恩給料扶助料扶助金及八雜ノ給與ノ四ノ目ナリ

佛々廿六年度ニ於テハ恩給料支出ノ必要ナリ恩給料ハ滿十五年以上勤続者ニテ

議長(鑑賀敬二郎君)曰閉會ヲ豫メル、方モアヤキノ報告ハ既済シコレヨリ閉會ス  
 ヲ明日ヨリハ午前七時出頭八時開會正午退散ト定メ又明日ノ議題ハ第四號國庫線中  
 改修事業延期ノ件山口高等中學校用土地交換ノ件ニ關スル兩藩間ノ第一讀會并ニ本  
 日一讀會ヲ了ヘタル兩案ノ二讀會トス  
 時ニ零時十分

議長(鑑賀敬二郎君)曰閉會ヲ豫メル、方モアヤキノ報告ハ既済シコレヨリ閉會ス  
 ヲ明日ヨリハ午前七時出頭八時開會正午退散ト定メ又明日ノ議題ハ第四號國庫線中  
 改修事業延期ノ件山口高等中學校用土地交換ノ件ニ關スル兩藩間ノ第一讀會并ニ本  
 日一讀會ヲ了ヘタル兩案ノ二讀會トス  
 時ニ零時十分

七月廿七日

午前八時四十分開會

正午閉會

出席三十五人

欠席

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 十番(山本六彦君)     | 七番(龜井旗太郎君)   |
| 十七番(菊屋剛十郎君)   | 三十八番(林貫一君)   |
| 三十九番(林仙輔君)    | 四十一番(村上登君)   |
| 四十三番(町田義助君)   | 四十四番(松野祿通君)  |
| 四十五番(西村禮作君)   | 四十六番(内田吉三郎君) |
| 四十八番(久保田庄次郎君) |              |

議長(鑑賀敬二郎君)曰本日新タニ出席ノ各位モアレハ昨日來ノ經過ヲ報告セシ各位ニ  
 交付ノ議案諸問案中明治廿五年度小學校教員恩給基金預算議案ト明治廿五年度小學  
 校教員恩給金豫算議案トニ對シ第一讀會ヲ了ヘ本日第四號國庫線中改修事業延期ノ

件諮問ノ第一讀會ヲ開カントスルノ場合ナリ左機御承知アレ

議長(雜賀敬二郎君)曰はヨ、開會ス第四號國道線中改修事業延期ノ件諮問第一讀會ヲ開ク○書記議案ヲ朗讀ス

諮問

第四號國道線縣下玖珂郡岩國町ヨリ同郡玖珂村ニ至ルノ間道路改修ハ過ル明治廿三年通常縣會ノ諮問ヲ經テ來二十六年度ヨリ五ヶ年繼續事業トシ之ニ對スル國庫補助ヲ主務大臣ニ請求セ置タリ然ルハ本年六月法律第四號ヲ以テ鐵道敷設法ヲ發布セラレ山陽道線ハ其第一期敷設ノ部ニ編入シアルヲ以テ今ヤ該國道ヲ急ニ改修スルモ他日鐵道敷設ニ當リ其線路ノ如何ニ依テハ或ハ交互踏踏或ハ兩路併行ニ節角巨額ノ工費ヲ投シタル改修モ却テ其効用甚ク薄ク通行不便ヲ感スル等ノ結果ヲ來センモ亦謂クヘカラス歟テハ右改修事業ハ當分ニ之ヲ延期シ追テ鐵道線路確定ノ上適當ノ方案ヲ立テ更ニ縣會ニ附議セントス

議長(雜賀敬二郎君)曰各員猛義アレハ質問セラルヘシ番外ニ於テモ陳述セラレタキコトア

レハ此際發言セフレテ可ナリ○番外一番(風洞老名忍介君)曰一通リ本案發付ノ要領ニ陳テ是ハ別ニ深キ理由トテハナク諮問案ニ書スル所ノ如クナルカ此延期ノ必要ヲ認メタルハ法律第四號ヲ以テ山陽道線ハ第一期ニ敷設セラル、トトナレリ元ト山陽道鐵道會社アリテ其社ノ目的モ馬關マテ貫通スルニ在リ然レ共其社ノ實況ヲ察スルニ其直通ノ日ハ幾年ノ後ニ在ルヤ湖ルヘカラス議會ニ於テモ俱ニ之レカ改修ノ必要ヲ認メ廿六年度ヨリ改修スルコトナレリ然レ共今般發布ノ鐵道敷設法ニ依レハ山陽道線ハ其第一着タリ然レハ其鐵道ノ開カレハ遠カラサル内ニコトナレ共是ニ先テ第四號國道線ヲ改修スルモ其布設ノ結果數多ノ踏切リ又ハ併行ノ所ヲ生シ遺憾ヲ來スノ恐レアリ故ニ其敷設線路ノ確定ヲ待ツツ必要トス而シテ此延期ヲ當會ニ諮問スルハ昨年中既ニ設計書ヲ添ヘテ國庫補助ノ請求ヲ爲シ置キタリ其補助ハ廿六年度ヨリスルモノナレハ本年十一月ヨリ開カレヘキ帝國議會ニ付議セシメテ之ニ對シテ豫算案中ニ編入シ要ス其豫算ハ目下圖製中ナレバ果ヤ之ヲ延期スルコトスレハ急ニ申置ケルヲ得ス是レ本件諮問ヲ要スルノ要領ナリ此點ノ事ハ質問ニ隨テ答辨セゾ○是ヨリ各員



交々疑義ヲ負シ番外一番(風梅老名忍介君)答辨ス○議長(難實敬二郎君)曰只今ノ場  
 合ニ於テハ質問租ト盡キタル様ナレハ本案ニ對シ二讀會ヲ開クヤ否ヲ問フ○二十六  
 番(渡邊新君)曰二讀會ヲ開クヲ可トス○八番(世良徳壽君)曰常置委員會ノ意見ヲ報  
 道セン本案延期ニ就テハ全會一致ナレ共其延期ノ理由トスル所ニ至ツテハ各意見ヲ  
 展セシメ○四十二番(赤穴鐵郎君)曰二十六番ト同感○議長(難實敬二郎君)曰二讀會  
 ナ開クヲ可トセラル、ノ說ノミナレハ滿場御同意ノヲト考フ起立ニ問ハス二讀會ヲ  
 開クニ決定ス

議長(難實敬二郎君)曰山口高等中學校土地交換ノ件諮問ノ第一讀會ヲ開ク○書記議案  
 ナ朗讀ス

諮問

山口高等中學校用地土地交換ノ件

吉敷郡上宇野合村字靜間山第貳百八拾七番

一畝炭林六千五百貳拾八坪

同郡同所第貳百八拾八番

一柴草山千百坪

以上山口高等中學校附屬地元山口中學校ノ分引繼

吉敷郡上宇野合村字平蓮寺第貳百八拾三番

一四百四拾六坪

以上山口高等中學校敷地同校成立後買入

合計八千七拾四坪

右交換地

吉敷郡山口町大字後河原町第貳千百三拾番字松柄

一四千三百九拾壹坪壹合七勺

但縣廳用地トシテ買入ノ内不用ノ部分曾テ換下ノ分

特主私立防長教育會長毛利元龜

今般難關必要出來ノ題ニ以テ前記山口高等中學校用地ノ内八千七拾四坪ノ地所企望シラキ

同中學校門前私立防長教育會所有土地四千三百九拾壹坪壹合七勺ヲ以テ交換方私立防長教育會長毛利元德ヨリ請願セリ右山口高等中學校ハ元縣立中學校ノ制ヲ改メ明治十九年勅令第十六號諸學校通則第一條ニ依リ同二十年四月ヨリ文部大臣ノ管理ヲ請ヒ爾來同省ニ於テ管理シ該土地ハ現今同高等中學校ノ所有ニ屬セリ然レモ管理ヲ止ムル場合ニ於テハ本縣ニ交付スヘキ旨管理條項中ノ約スル所ナルヲ以テ該校所有ノ土地ニ始終本縣地方稅經濟所屬ニ因縁スルモノナリ依テ文部省ニ於テ管理上差支リナリニ於テハ該請願ヲ容レ交換方ノ手續ヲ履行セントス

議長(雜賀敬二郎君)曰疑義アレハ質問セラルヘシ○是ヨリ各員交々疑義ヲ質シ番外一番(風大多和可也君)答辨ス○議長(雜賀敬二郎君)議員ノ稍ヤ疲倦セキヲ察シ十時十七分ヨリ十分間ノ休憩ヲ告ク

時至ツテ開會ス○議長(雜賀敬二郎君)曰續テ質問アリタカ○置義スルモノナシ○議長(雜賀敬二郎君)曰最早置義ナキト認ム若シ尙ヤ疑ヒアラハ二讀會ニ及ボテ質問スルモ可ナリ常置委員ハ此際本案ニ對スル意見ヲ報道セラレヘシ○十六番(刀嶋勘三

君)常置委員會ノ意見ヲ報道セシ委員會ハ交換セスベシ之ヲ賣却スルコトヲ決ス四千三百九拾壹坪ノ地ニ元來必要ナキガ故ニ先キヨ掃下ケタルモノアレハ將來亦人用ナシ付テハ八千七拾四坪ハ一應縣廳ニ交付ノ取計ヲナシ而シテ之ヲ願主ハ賣渡スコトヲ答申セタル尤モ此賣買行ハレサル片ハ決断ノ執行ハ行ハレサルコトナキ其賣却代價ヘハ常置委員會ヘ諮問ヲ要シテ決スル考ヘナリ○議長(雜賀敬二郎君)曰本案ニ對シ二讀會ヲ開クヤ否コ付テ發言セラレヘシ○二十一番(河野郁太郎君)四十番(多根祥介君)共ニ二讀會ヲ開ク可トス○議長(雜賀敬二郎君)曰二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立 全數

議長(雜賀敬二郎君)曰二讀會ヲ開クコトニ決定ス  
議長(雜賀敬二郎君)曰明治廿五年度小學校教員恩給基金豫算議案ノ二讀會ヲ開ク○皆

記議案ヲ朗讀ス

明治廿五年度小學校教員恩給基金豫算議案

一金千貳百貳拾圓拾六錢

小學校教員恩給基金

内譯

金六百拾圓八錢

市町村小學校教員納金

金六百拾圓八錢

市町村納金

○四番(本間源三郎君)曰原案ヲ可トス此案ニ付テハ原案ノ如クスルコト外ニ致方ナ  
 ヲ○十八番(藤津正憲君)曰原案ヲ可トス本案ニ付テハ二讀會ノ決議ヲ以テ確定議ト  
 セラレシメテ採ム○十五番(近藤慶一君)曰悉クニ採決セラレシメテ望ム○議長(雜  
 賀敬二郎君)曰本案ニ對シテ原案賛成者ノモナレハ滿堂同意ノコト認メ起立ヲ煩ハ  
 サス原案ニ可決ス尙十八番ヨリ二讀會ノ決議ヲ以テ確定議トスルノ發言アリテ別ニ  
 三讀會ヲ必要トスルノ説ナケレハ即チ本讀會ノ決議ヲ以テ確定議トス左様御承知ア  
 レ

議長(雜賀敬二郎君)曰明治廿五年度小學校教員恩給金豫算議案ノ第二讀會ヲ閉シ○書  
 記議案ヲ朗讀ス

明治廿五年度小學校教員恩給金豫算議案

一金拾四圓九拾八錢七厘

小學校教員恩給基金利子

○二十六番(渡邊新君)曰原案ヲ可トス本案ニ速カニ採決ヲ望ム○議長(雜賀敬二郎  
 君)曰別ニ異議ナケレハ速ニ採決セン原案ヲ可トスルノ諸君ハ起立

起立 全數

議長(雜賀敬二郎君)曰原案ニ決定ス本案ハ前議案ト貫連シタルモノナレハ直ニ二讀會  
 ノ決議ヲ以テ確定議トス

議長(雜賀敬二郎君)曰第四號國道線改修事業延期ノ件昨日ノ二讀會ヲ閉シ

○十三番(田原清平君)曰本日は研究スヘキ事務ノアル趣聞込モアレハ是レ限リ閉場  
 セラレシメテ請求ス○議長(雜賀敬二郎君)曰四十三番ノ請求ヲ容レ本日は閉場ス右  
 了々退場

七月廿八日

午前九時三十分開會

出席三十五人

欠席

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 七番(藤井慎太郎君)   | 十番(山本六彦君)     |
| 十七番(菊屋剛十郎君)  | 三十六番(三輪篤七君)   |
| 三十八番(林貫一君)   | 三十九番(林仙輔君)    |
| 四十一番(村上登君)   | 四十三番(町田義助君)   |
| 四十四番(松野猷通君)  | 四十五番(西村彌作君)   |
| 四十八番(内田直三郎君) | 四十八番(久保田庄次郎君) |

議長(總資殿二郎君)曰只今ヨリ第四號國道線中改修事業延期ノ件質問ノ第二讀會ヲ開  
ク○再記議案ヲ朗讀ス

附問

第四號國道線中改修事業延期ノ件

第四號國道線下秋野郡岩國町ヨリ同郡玖珂村ニ至ルノ開道路改修ハ迄テ明治廿三年  
 通常縣會ノ請期ヲ經テ來廿六年度ヨリ五ヶ年繼續事業トシ之ニ對スル國庫補助ヲ主務  
 大臣ニ請求セ置ケリ然レモ本年六月法律第四號ヲ以テ鐵道敷設法ヲ發布セツレ山陽道  
 線ハ其第一期敷設ノ部ニ編入セザルヲ以テ今ヤ該國道ヲ急ニ改修スルモ他日鐵道敷設  
 ニ當リ其線路ノ如何ニ依テハ或ニ交互雜綜ニ或ハ兩路併行シ節角互願ノ工費ヲ投シテ  
 其改修ニ却テ其効用甚メ薄ク通行不便ニ成ヌル等ノ結果ヲ來サシモ亦測ルヘカラズ就  
 テハ右改修事業ハ當分之ヲ延期ニ追テ鐵道線路確定ノ上適當ノ方案ヲ立テ更ニ縣會ニ  
 附議セントス

○四番 本間源三郎君(日本黨ニ對スル小員ノ意見)延期ナレ共當分トアキナ  
 一ヶ年トシ廿七年度ヨリ着手スルモノトスオテ當分ト云ハハ何ヶ年ノ後ツルヲ知ル  
 一カラス之ヲ繰進布設ノ法案ヨリ云ヘハ第一期ハ十二年ニシテ其年期中ハハ落成ス  
 ヘシ大体該鐵道布設セツルハニ付此工事は延期セセルヘカツルノ必要ナク成セズ其

理由ハ別ニアレ共之ヲ述ヘス又廿六年度ヨリ着手スルトスルモ此工費金ニ對テ國庫  
 ヲリ補助ヲ與レキニ時ハ中止ストノ條件ヲ付スルモノナリ沿道鄉民ノ寄附金ハ逆モ  
 費額ノ十分ノ一位ノ外出來サルヘシ而シテ國庫ヨリ三分ノ一ノ補助ナキニ於テハ到底  
 底地方稅ノ負担ニ堪フル能ハキルナリ○十五番(近藤慶一君)曰昨日常置委員ノ意見  
 報告ニ延期ト云フハ原案ニ同意ナレ共其理由ハ相異ナルト聞ケリ其異ナル所ノ理由ヲ  
 承リ度○十三番(田原清平君)曰予モ常置委員ノ一人ナリ今ノ問ニ答ヘン開ハサキ  
 ノ四番モ常置委員ナルカ同委員ノ説ノ如ク一ヶ年延期モアリ又原案其儘ノ延期説モ  
 アルナリ而シテ同ハ原案ノ通ニテ可ナリト云フモ此原案ノ主旨ハ廿三年ニ於テ議決  
 セル意味ト相反セリ同年ニ於テハ此路線ハ鐵道ト併行シ又ハ交互雜綜スヘキコトハ  
 元々詳細ノ上ニテ可決セリ元來鐵道ニ先テ此道路ヲ改修セザルトキハ輕便ヲ彼レニ  
 占メラレ多ク費用ヲ要セン就中欽明寺峠ノ如キハ一路線ノ外ナシキハ輕便軌道諸共ニ  
 之レニ由ラザル可クニ故ニ先テ道路ノ改修ヲ爲スヘシトハ先年建言者ノ主旨ナリ然  
 レト雖モ且下向來ノ準備調ヒ屆ワケルニ依リ直捷先年ノ議決ノ通り執行セントスル

事實際裏國ハント云フヨリ先ヲ延期ハスヘ併レ其期ヲ一年又ハ二年又ハ當分ヨニ  
 ヘレ等御々ニシテ歸一セザリシ〇十五番(近藤慶二君)曰(原備トハ如何ナル準備ナリヤ)〇  
 十三番(田原清平君)曰第一タル寄附金ノ取調未タ運ハス言々ヨリ見レハ當局者ハ何  
 故ニカハ知ラケレ共少ク怠慢ナリレヨハアアクニヤ併レ直ニ怠慢ト斷言スルナリ得ナ  
 レ共只第一着手タル寄附金ノ取調未タナルヲ以テ怠慢ト見做スノミ又先日今ノ番外  
 圓ヨリ寄附ハ多分出來キヘレト聞キレカ其後該地方ヨリ承知スレハ總分ノ寄附田  
 來ル見込ナリト〇十五番(近藤慶一君)曰四番ハ諮問書ノ右以下ヲ改メルトナリ  
 ナルガ其以上ノ調キヘカラス云々ハ存置スル積リナリヤ〇四番(本間三郎君)曰一  
 少年トノ旨ヲ答申書ニ認ムルモノナレハ諮問ノ理由ニ自然消滅スルモノナリ又國庫  
 ノ補助叶ハサルトキハ該改修ハ中止スル旨モ答申ス〇十五番(近藤慶一君)曰四番ノ  
 延期理由ハ國庫補助成否ニ由ルカ〇四番曰其外ニ準備ノ未整理モアルナリ〇十九番  
 (美神龍彦君)曰十三番ハ寄附金ノコトニ付云々セキガ該寄附額ヲ付テハ法律上ノ制限  
 アリヤ〇番外一番(尾海老名起介君)曰寄附金ハ何程セサルヘカラストノ制限ナキ又

番外ノ見込ニハ他ノ縣道ナリ里道ナリ改修ノ時地民寄附ノ例アレ共此道路ハ比例額  
 ヲモ寄ルヘカラス先ツ其土地相應ノ寄附金額ニ任カスヘキモノカト思ヘリ尙是迄縣  
 會ニ於テ其額ノ決定モナク又當局者ヨリモ謀議セリコナリ〇十九番(美神龍彦君)曰  
 當局者ノ大凡ノ見込如何〇番外一番(尾海老名起介君)曰過日モ速ヘタル通り地民ニ  
 向ヒ公然打合せモナサズ即チ縣廳ヨリ何程ト定メテ表白セルトモナケレ其大凡ノ少  
 タモ工費ノ十分ノ一ハ出レ得ヘト想像セリ併レ其目的ヲ以テ之ヲ沿道各村ニ配當  
 セハ各村個々ノ實際ニ對シテハ或ハ過少或ハ過多ノ餽隨ヲ生センカナレ共先ツ右ノ  
 如ク胸中ニ既定セリ十九番ヘノ答ヘニハコレマデトモサキコ傍縣中縣廳ハ寄附金取  
 調ニ着手セス故ニ工事ヲ延期セサルヘカラスナルニ至レリトカ或ハ怠慢アリトカノ説  
 アリモカ只今モ十九番ニ答ヘタル通り及然打合せナキナルマデニテ必竟七月末ノ  
 今日ノ至リテモ尙ホ斯ノ如キハ此諮問ヲナサズニ至ルナリトモ因ル縣廳ハ固ヨリ此  
 案ニ通りニナラフコトヲ思フヲ諮問セサルナリ若シ延期セスト決定セマレ知事モ之ヲ  
 認可セラレハ直ニ着手レテ十一月ノ通當會マケルハ寄附金ノ取調ニモ了ナリ積リ

ナリ只漢然ト雖過セシユアラス此邊一應斷リ設クナリ得常設委員會ノ時寄附ハ出  
 來ニ見込ト答ヘタル如ク聞キカソレハ其言ノ口ニ出テ其聲ノ耳ニ入リ讀路ノ強弱  
 例得ノ行違アリシトテ未ダ着手セサル位ナレハ成否ハ明言セズ只六ヶ敷ナラナリ  
 ノ見込ナ言ヒシマテナリ而シテ所謂難ト不能トハ似テ大ニ非ナリ又四番ノ説ニ付何  
 ヒツ御説ニ當分ラ一年ニ改ムルトナルカ皆外ハ固ヨリ其説チ可否スルコアラサレ  
 共政府ヨリ三分ノ一ノ補助アレハ廿七年度ヨリ着手シ補助ナケレハ中止スト果シテ  
 之ニ可決セルキハ廿六年ノ通常會議案ニ編入セサルヘカラス四番ノ意ハ廿六年ノ會  
 議マキニ補助ノテヲ確カメテ發案スルノ意カ又ハ其時ニハ分ラセルモ他日着手スル  
 場合ニ更ニ議決シテ費用ヲ供出スルノ意カ○此間四番(本間徳三郎君)ト皆外一番(一  
 属海老名勉介君)ト相反覆應答アリ最後ノ番外ノ答兼問ハ廿七年度ヨリ國庫ノ補助  
 ナ請求スルトセハ廿六年十一月ノ帝國議會ヘ付議セサルヘカラス又地方經濟ノ方ニ  
 テモ廿七年度ヨリ着手スルトセハ矢張廿六年十一月ノ議會ヘ豫算ヲ發付セサルヘ  
 カラス而シテ此時ハ國庫補助ノ成否ハ未定中ニ係レリ國庫補助未定ノ内ハ豫算ヲ議

セストセハ實際ニ差開クナリトナリ○十六番(刀禰勘三郎君)曰皆外ノ發ナル如キ場合  
 ニハ臨時議會ヲ開ケハ可ナラシ而モ尙ホ差支アリヤ○皆外一番(属海老名勉介君)曰  
 帝國議會ハ二月頃ニ濟ムトスレハ三月ニ臨時議會ヲ開ケハ差支ナシ○四十七番(三  
 井忠藏君)曰常設委員ノ意見ハ今十三番ノ説ニ依レハ延期ト云マハ皆同意ナレ共其  
 理由ハ一年アリ二年アリ又諮問ノ通りト開ナリ果シテ然ラハ該委員會ノ決議ト云フ  
 ハ如何○十三番(田原清平君)曰常設委員ノ意見ハ只延期ストナリ何年ト云ハス無年  
 期ナリ○四十七番(三井忠藏君)曰然ラハ常設委員ノ意見ハ諮問ヲ可トスルモノト見  
 込ユヘキカ○十三番(田原清平君)曰常設委員ハ只延期ト云フ點ノミ其他ハ議ニ議  
 經マラス○四十七番(三井忠藏君)曰甚タ不敬ノ言分ナカラ謝罪セヨナリ此場台何  
 年ノ延期トカ諮問ノ通りトカ一決スル所ナカルヘカラス○十三番(田原清平君)曰此  
 上ハ勝手ニ料理セラルヘ○四十七番(三井忠藏君)曰ヤレハ此度ハ仕方ナシ甚ク  
 辭退ノ申分ナカラ後來如斯クナキ様注意アリタキモノナリ而シテ本案ニ對スル意見  
 ハ諮問ナリトス四番ヨリ一年延期トノ意見ナリ其理由中尤モト開キ取リタルニ繼

道ヲ先キハセムルヲキハ彼レニ平島ヲ占ムラレ唯ク隘難ノニ候フドトナレ共君  
 如斯セ一時間ノ通リ或ハ中斷セツレ又ハ併行シ單ニ鐵道ノ後ニセテナレトノ後  
 フラソ且鐵道布設ヲ待ツトアモ第一期即チ十二年内ニハ必ス竣工スヘキ事ヲ本路  
 總ニ八年モ十年モ水シ延フノ氣遣ナレ他日請ナ爾マレヨリ鐵道ヲ先キセシムル  
 若クハ○四十二番(赤穴崎郎君)曰證問ヲ可トス理由ハ四十七番ノ通リ○十八番(藤  
 津正憲君)曰緊急建言ヲ提出ス四番ノ問答モアリタカカ選テ考フレバ四番ハ其身當  
 置委員ナルニ此場合ニ於テ番外ニ問答繁長ナル位ナリ此際休憩ノ傍ヲ熟考セタレ○  
 三十三番(來島信興君)曰證問ヲ可トス○廿一番(河野郁太郎君)曰證問ヲ可トス種々  
 議論ハアレ共証期スル外ナレ○十三番(田原清平君)曰四番賛成ナリ或ハ證問ヲ可ト  
 セルハモアレ共开ハ人各見ルアルニ任セ敢テ腹々論駁セサルヘキ抑モ廿三年証會ニ  
 於テ決定セル場合ハ鐵道ト併行シ又ハ錯綜スヘキヲハ己ニ業ニ詳知ノ上ニコレヲ今  
 日鐵道敷設法ノ發布ニ接シ今更蓋クヘキニモアラス前ニモ述ヘレ通り道路ノ改修ヲ  
 先キニセサルヘカラサル理由アレハ社當局者モ發案シ且當該委員モ實際ノ取調ヲナ

シ彼ノ公決アリシモノナリ尙當時ノ次議ヲ詳聞スレハ鐵道ニ後レタルトキハ欽明寺  
 ノ路線ヲ失フ故トナリ或ハ道路線ヲ失フモ鐵道ノ便ヲ得ント云フモノアラソナレ共  
 其便ニ由ル能ハサルモノナリ如何セン或ハ鐵道ノ後ニモ改修スルヲ得ト云フモノアラソ  
 ナレ共費額ノ増加ヲ如何セン故ニ是非鐵道ノ前ニスヘントノ意ヲ以テ之ヲ決セリ  
 トノヲ本員ハ其建言者タル本人ヨリ直聞セリサレハ此案ノ意ト廿三年ノ決議ノ意ト  
 ハ反對セリ又此內當該委員ノ報告アルマテハ未ダ示知セザリシカ本件ノ關係ノ地方  
 人民ニ傳聞スルヤ大ニ驚動奮起シ寄付金モ見込ノ通り出來得ルトナリ己ニ寄付金ハ  
 出來又前年決議モ鐵道ヨリ前ニスルノ意加之換フヘキ路線モナレト云ヘハ我先ク之  
 ヲ制タルニ若クハ四番ノ説モ本年度ヨリ直チニ着手スト云フコトアラスレテ職權ノ準  
 備旁一ケ年延期シ廿七年度ヨリスト云フハ至極實際ニ適セルモノナリ又一ノ恐トヘ  
 キハ一旦決定セタル上ハ國庫ノ補助ナキモ之ニ着手スヘキカノヲナリ是レ決メテ出  
 來タルナリ故ニ其旨ヲモ明言シ置ク事可トス是レ四番ノ贊成スル所以ナリ尙此序  
 一言ニ番外ノ先日地民ノ寄附ハ出來サル見込ナリト云ヘキト本員カ先刻述ヘタルハ



開建ヒナクノ費外ハ雖レト云ヒレマアナリト述フレタルガ成ハ然リレナクンモ分  
 ナス世近來斯ル行違レ度々アリ以來ハ之レ無カラントテ望ム此コトハ果シテ本國ノ  
 誤明平將ヲ母外ノ謬言乎○十五番(近藤慶一君)曰全体ハ浴問ノ通リチ可トス但當分  
 トチテハ或ハ無年期ノ恐アリテ地民ノ感情ニ影響スルヲ以テ先ツ三ヶ年トシテ其  
 間コト準備モ調ハン又先刻準備ヲ設アリシカ鐵道ノ方チ先キニセサレバ實地併行又  
 ハ錯綜ヲ生セシ又鐵道已設ノ上ハ地方ノ物産者預貨物運搬ノ度合ヒモ相違シ今日  
 於テハ置備三間チ必要トスルモ他日ハ二間ニテモ可ナリレナクントノ成テ生スルコ  
 アツシ○二十六番(渡邊新君)曰四番ニ同意ス浴外ハ十分ノ一ノ寄附ハ雖レト思ハル  
 ヲモ昨今ノ景況ニテハ十分出來得ルト開ク之ヲ三年モ延期スルト云ハハ地民熱望ノ  
 度冷却シテ遂ニ此工事を成ヌチ得サルニ至ラン

議長(箱賀敬二郎君)曰十八番ハ此場合休想ヲ望マルカ志願ヨリハ追々意見ヲ陳述セ  
 ラレタルガ貴見未タ定マラサルヤ○十八番(藤津正憲君)曰最早意見定マレリ色々各員  
 ノ説アリテ或ハ一年ト云ヒ或ハ三年ト云フモ入ラサル心配ナリ本國ハ浴問チ可トス  
 及ハサルニケレハナリ

○十九番(美神龍彦君)曰種々ノ意見ヲ聞キ彼是對比然考スルニ到底浴問ノ通リチ可  
 トス或ハ當分ト云フハ確カナクスレバ不可ナルカ如クナルモ鐵道敷設ノ上ハ之ニ若  
 手スト云フ主意ニテ己ニ山陽線ハ第一期内ニスルモノナレハ十年モト云フ久シキニ  
 及ハサルニケレハナリ

議長(箱賀敬二郎君)曰十五番ノ三ヶ年ノ延期ト云フハ三ヶ年ノ後ニハ國庫補助ノ有無  
 ニ關セスト云フノ意カ○十五番(近藤慶一君)曰補助ナケレバ着手セサルヲ其他理由  
 ハ四番ト同成ナリ○四十二番(赤穴彌郎君)曰本員ニ己ニ浴問ノ通リチ可トスルコト  
 途ニ置キタリ其後四番ノ説アリ之レニ賛成セルモノアリタルカ其浴問ノ通リチ可ト  
 スルノ理由ハ既コ業々四十七番ヨリ言ヒ盡シタレ共今十三番ヨリ四番チ賛成セラル  
 ヲ付テノ意見アリ就中曰ヘラタ廿三年ニ於テ此改修ノ議決ヲ爲セシ時鐵路ヲ先キ  
 ヲスレバ橋新成ニ交互錯綜ノ生シントハ明コニ承知ノ前ナリ今日ニ至リ之ヲ發見セ  
 ルカ如キハ延期ノ理由ニ乏キ又思想堅固ナラサルナリト實ニ然リ此浴問ヲ賛成ス  
 ルニ付テハ其思想堅固ナラサル社説ヲ所ナリ何者折角多額ノ費金ヲ投シ改修セルモ

ノ事成ハ並行或ハ横断セラル、ハ本本章ナリ道路ヲ後ニセハ何人モ便利ヲ得テ過テ  
 改ムル事俾ル勿レ又新道ヨリ後ニスレハ資金ノ嵩マツトテ恐ル、トナレ共コレ一ヲ  
 知テ未ダ其二ヲ知ツサルモノナリ是迄ノ實地ニ鐵道ノ後ヨスルハ軌道敷  
 設ノ爲メニ排除セル土石ヲ利用スルコトヲ得其他等コト却テ成費ノ利益ヲ得ン又四番  
 ノ説ニ從フトキハ臨時會ヲ開カサルヘカラス而ルニ本領ハ高已ムヲ得サル事件ニテ  
 フキルコリハ臨時會ハ鐵道好マキル所ナリ一度之ヲ開設スルモ幾百圓ト云フ巨額ヲ  
 費スノモノナラズ臨時徵稅ノ爲メ市町村役場帳簿調製費等全縣下ノ費消買ニ揚少ナラ  
 キルナリ故ニ徵マゾ諮問ノ通り可トス○三十一番長尾三輔君曰四番ニ賛成ス理  
 由ハ己ニ四番十三番ヨリ首盡セタレ共其後退ケ異見者ノ説ヲ聞クニ鐵道ヲ先キニセ  
 シムルトキハ却テ工費減額セントノコトナレカ之ハ一應尤ナリ併ビ己ニ通行セナレト  
 人ハ詳知ナレラシ彼ノ欽明寺埵ハ全國無類ノ險難ナル絞路ニシテ只國道ト云フハ名  
 ノミニテ其實用チナキ事實ニ要急ノ事業ナリトシテ廿三年ニ於テ可決セルモノナリ  
 之ヲ鐵道ノ後ニスルハ不利益ナリ若シ然ラハ邊經ノ路線ハ皆徵レム占メタレ又一

今年延期セハ鐵路ノ方針ハ十分確知スルヲ得ヘシ且又本事業延期ト聞クヤ沿邊人民  
 ハ爲メニ頭痛ヲ起シ是非其斷行ヲ熱中セリ而ルニ今之ヲ無期延期ニスト云ヘハ廿六  
 番ノ説ノ通り時機ヲ恐ルノ恐アリ故ニ只一年ノ延期ヲ望ム○三十三番(來島信興君  
 一)曰今更實言ノ如クナレ共一言補足スヘシ全体四番ノ説モ原案モ等シク延期タルコ  
 相違ナレ共一ハ鐵道ノ前ニシテ一ハ鐵道ノ後ニスルモノコト其實大ナル差異アリ四  
 番ニ於テハ鐵路ヲ前ニスルトキハ先ツ良線路ヲ占メ得テ費用隨テ寡少ニテ濟ミ且本  
 事業ハ幾年來ノ企圖ニ係リ其素志ニ從フモノトナリ成程樂願ヨリ云ヘハ尤ナリ併ビ  
 乍ラ鐵道ハ大ニ社會ノ大勢ヲ變化スルモノニテ該鐵道成工ノ上ニ或ハ國道ノ上ニ於  
 テ今日ノ不便ヲ成セヌト相應ニ資金ヲ要スヘキモ十三刀圓ニハ及ハストノ感ヲ生ス  
 ルニ望クニ加之鐵道敷設モ政府ノ方針ナリ國道モ亦政府ノ管轄ヘ地方稅ノ支辨モナレ  
 共三ツテ道路ナリ鐵道ナリ其人民交通運輸ノ便ヲ取ルハ彼レニ多ク此レニ少ナキ  
 差ハアツシモ亦自ラ相倚リ相須テ之ヲ助メモノナレハ今日鐵道三關ノ必要ハ鐵道ノ  
 爲メ縮短スルモ不便ナキニ至ラン此邊向ハ孰レモ經驗少ナレハ只社會ノ來歴トナ

或ハ費金多少ノ一點ノキヲ斷案スルトキハ後年意外ノ結果アラフコト恐キレハ當分延期ヲ執運確定ノ後ニモモ決マテ曉ゼトセス此理由ヲ以テ能マテ原案ヲ可トス○十三番(田原清平君)曰原案賛成者ノ意ハ鐵道ヨリ後ニテ交互輪流カレントナリ併シナカラ諸君モ承知ナラン何處ノ道ニテモ並行橋斷ハ到底免レズ此線路ハ限リ免レントモルハ受テ取レヌ又或ハ諸君ハ此路線ノ實地詳知ヒタレサルヘシ惟ツコ諸君ハ鐵道敷設後ニ於テ尙ホ片側ニ道路ヲ修築ヲ得ルノ余地アルヘシト思ハルニナラソナレ共此路線ニ限リテ能ハヌコレ廿三年ノ決議アル所以ナリ今日此諮問ノ面ヨリ云ヘハ最前述べタル通り寄附金ノ成否重ナル理由ノ如クニシテ寄附金調達スレハ廿三年決議ノ通り決行セントハ其裏面ノ精神ナラン而ルニ寄附ハ何處マテモ出來ル見込ナリ諸君或ハ實地不詳知ナラントノ恐レアルニ依リ一言ス○四番(本間源三郎君)曰今一言前説ヲ補フヘシ三十三番ハ鐵道敷設ノ上ハ此道路ノ改修ハ爲セサルモ濟マントノ感アルカ如クナレ共鐵道ト道路トハ平常其効用異ナレリ卅三番ハ本國ノ説ヲ一聞ニ來歴ニ染ミタルモノト疑ヒアルカ如ク或ハ然ラソ然レ共全クハ然

ラス實ハ過ル六月玖珂郡ニ出張セ路線ヲ見分ケ又欽明寺埜モ越ヘタルガ山陽路線中無比ノ險惡ナリ全体縣下ニ在ラテハ縣道ナリ里道ナリ相應ニ改修セタルニ此鐵道ノ改修ヲナサレハ他ニ對シテモ取入ル位ナリ而レ共尙ホ之ハ忍フヘキモ雨雪ノ日ニ當リテハ二人曳ニテモ車ス可ラス又廿年ニ於テ縣廳ヨリ同武郡ノ道路ト合セテ貳拾万圓ノ發案アリタレ共一ヶ年延期セ其後廿二年ニ建言アリ廿三年ニ諮問ヲ發シ其諮問ヲ可決セラ即チ廿六年度ヨリ着手スルコトナレリ全ク來歴ニ染ムニハアラサカモ廿年頃ヨリ紛革モアリ且ク實際險惡ナリ實際ヲ詳知セラレハ一日モ早ク改修セサルヘカラサル觀念生セズ斯ク年來ノ來歴モアリ且此機ヲ失ヒ地民ノ熱心冷却スル片ハ遂ニ改修スモテ得ヤルニ至リ爾後ノ効績マテ合セテ全失セヨラ憂フル故ナリ併シ仮令改修ハ編置スルモ十三万ノ巨額ナシ地民ハ十分一以上寄附ヲ得ヌ又鐵道ノ補助ナキニ於テハ到底地方税ノ負担ニ堪フルヲ得故ニ補助ナケレハ中止ト云フ所以ナリ○六番(磯部十藏君)曰十九番ノ陳述中諮問ノ當分ト云フハ鐵道敷設マテヲ指スモノナリト云ヘリ番外モ矢張其意ナリヤ○番外一語(尾海老名郷介君)曰御間ノ鐵

〇即チ當分トシ何年月〇限ヲセサル營業ナリ併シ無期ト云フコトラス鐵道布設ノ上ハ  
 相應ノ取調ヘナリシ縣會ヘ付議スル積ナリ〇六番(彌郡十藏君)曰山陽鐵道會社ノ該  
 線路ノ豫定ハ如何〇番外二番(眞熊谷良三君)曰會社ノ豫測線ハアリタルモ甚タ不確  
 定ノモノナリ其實地測定ノ時ハ縣廳ヨリモ立會テ答ヘテ本官ハ已ニ其立會ヲ命セテ  
 レタルモ其出張ノ期日等照會セザルコトモアリタレ共彼レ此レト言ヒ誣キ今日マテ  
 モ遂ニ其備ナキ〇六番(彌郡十藏君)曰請問ノ通チ可トシ之ヲ漫ニ無期延期トスレハ  
 實際并ニ地民ノ感情ニモ關センナレ共十九番ノ解釋ノ通リト番外モ明言スレハ鐵道  
 敷設ノ上ハ着手スヘキモノナリ又先年ノ決議ハ鐵道ヨリ先キニスルノ意ヲ以テシタ  
 ルニハ相違ナキモ今日ハ事業主義ナリタル爲メ先刻二十三番ノ說ノ通り等〇六番  
 管理ニ係レハ國費ト縣費ト分担都合ノ協議モ出來易スガラン〇八番(世良御壽君)  
 曰四番ヲ賛成ス〇三十五番(秋良貞臣君)曰元來速ニ着手センコトヲ望ムナリ追々各  
 員ノ說ヲ聞ケハ之ヲ延期スルハ年來ノ素志ニ違フモノナリ且此線路ハ貨物運搬上ヨ  
 〇殖産工業ニ大ニ關スルモノナリ而ルニ今日種々ノ理由ヲ以テ延期スルニ於テハ又

後日着手セザルトスル會議ニ於テモ此理由ヲ甲乙相提爭ヒテ復タ又延期スヘキトノ說  
 起クンリテ恐ル故ニ當分地方經濟ノ都合ニ因リ延期ストナリ置キ彼是レノ理由ヲ付  
 セサルヲ可トス元來來年度ヨリ改修スルハ本員ハ素望ナレ共此場合到底成立スヘカ  
 ラヤルヲ以テ如斯〇議長(雜賀敬二郎君)曰然ラハ請問ノ通リニモアラザルカ〇三十  
 五番(秋良貞臣君)曰然リ彼ノ理由ヲ好マヌ〇議長(雜賀敬二郎君)曰ソレニテハ採決  
 ニ因ルナリ無理ニ意見ヲ屈セラレコト云フニハアラザレ共或ハ請問ノ通リトカ又ハ  
 別段一說ヲ立ツトカアリシレコレマテノ說ハ理由ハ異ナルモ延期スルニ於テハ一十  
 リ〇三十五番(秋良貞臣君)曰鐵道敷設ノ上トスレハ後々ノ差支リヲ生センリテ恐ル  
 〇ナリ〇四十番(多根祥介君)曰採決ヲ望ム〇議長(雜賀敬二郎君)曰卅五番ノ說ハ一  
 ノ特別ナル說ト認ム

議長(雜賀敬二郎君)曰採決スヘキ三十五番并ニ十五番ノ說ニハ賛成者ナキヲ以テ情誠  
 ス四番ノ說ニ同意者ハ起立

起立者

十人

四番 八番 十一番 十三番 十六番 二十番 二十四番 二十六番 二十八番 三十一番

乃チ少數ナルニ依リ消滅ス

諮問ノ通チ可トスル者起立

起立者

二十一人

不起立者 四番 八番 十一番 十三番 十五番 十六番 十八番 二十番 廿四番 二十六番 二十八番 三十一番 三十七番

議長(雜賀敬二郎君)曰過半數ナルニ依リ諮問ノ通リニ可決ス

議長(雜賀敬二郎君)曰コレヨリ山口高等中學校用土地交換ノ件諮問ノ第二讀會ヲ開ク

○書記諮問書ヲ朗讀ス

諮問

山口高等中學校用土地交換ノ件

吉敷郡上宇野合村字靜間山領貳百八拾七番

一 蕨炭林六千五百貳拾八坪

同郡同所領貳百八拾八番

一 柴草山千百坪

以上山口高等中學校附屬地元山口中學校ノ分引繼

吉敷郡上宇野合村字平連寺領貳百八拾三番

一 四百四拾六坪

以上山口高等中學校敷地間校成立後買入

合計八千七拾四坪

右交換地

吉敷郡山口町大字後河原町領貳千貳百三拾番字松梢

一 四千叁百九拾壹坪壹合七勺

但縣廳用地・シテ買入ノ内不用ノ部分會テ拂下ノ分

持主私立防範教育會長毛利元繼

令館即應必要出案ノ趣ヲ以テ前記山口高等中學校用地ノ内八千七拾四坪ノ地所並ニ  
 ナリ同中學校門前私立防長教育會所有土地四千零百九拾壹坪壹分七勺ヲ以テ交換方私  
 立防長教育會長毛利元徳ヨリ請願セリ右山口高等中學校ハ元縣立山口中學校ノ嗣ヲ改  
 メ明治十九年勅令第十六號普通學校通則第一條ニ依リ同二十年四月ヨリ文部大臣ノ管理  
 ナリ同縣同省ニ於テ管理セザル土地ハ現今同高等中學校ノ所有ニ屬セリ然レモ管理ナ  
 止ルル場合ニ於テハ本縣ニ交付スヘキ旨管理事項中ノ約スル所ナリ以テ該校所有ノ  
 土地ハ始終本縣地方稅經濟所屬ニ因縁スルモノナリ依テ文部省ニ於テ管理上並文リテ  
 キコ於テハ該請願ヲ容レ交換方ノ手續ヲ履行セントス

○廿一番(河野郡太郎君)ヨリ復復質問ニ對シテ外一番(屬大多和可也君)之レニ答テ○廿  
 三番(屬崎島一部君)曰諸問ノ通リキ可トス○十五番(近藤慶一君)曰此交換地ノ各地  
 價ハ如何○番外一番(屬大多和可也君)曰取調タル評價ハ大凡同一ニテ約ノ三筆一壹  
 千八拾六圓八拾壹錢四厘候ノ一筆ハ一千九拾七圓七拾九錢貳厘ナリ○十五番(近藤  
 慶一君)曰諸問ノ通リキ可トス○廿四番(川邊時也君)曰昨日一讀會ノ際當座委員意

見陳述ノ通リ之ヲ賣渡ストスルモ手續上並支ナキカ○番外一番(屬大多和可也君)曰  
 該土地一且縣廳ニ受テ戻ル縣廳ヨリ之ヲ賣渡ストセキ手續上並支ヘナキモ併シ向  
 々之間々續ヒタルニ期カ懸念アルハ此土地ハ元來縣廳ヨリ中學校ニ供出キタルモノ  
 ナリ文部省ト條件付ノ約束アルナリ併シ其筋ノ取調ヘニヨレハ高等中學校ハ一ノ法  
 人トシ其土地ハ實產ノ内ニ編入セテ之ヲ扱キ出スハ區分總キカ如キ但シ然レ出テ  
 カルコトアルス○十六番(刀彌勘三君)曰當座委員意見ノ通リキ可トス併シ若シ主務省  
 ニ於テ許可セザルトキハ願主ノ希望ヲ達スルコト能ハサルヲ以テ第一ノ賣渡キ時ハ一  
 歩トキハ次ニ交換スヘキト決議セ置キタルヲ以テ今ニ於テハ公然開會セザルモノナラ  
 ズレハ何レナレハ許可アルヘキトモ共ニ餘期スヘカフサレハナリ○廿六番(後藤助  
 君)曰諸問ヲ可トス○廿四番(川邊時也君)曰此土地ノ成立ハ如何○番外一番(屬大  
 多和可也君)曰舊縣以來引繼キテ土地ニ於テ山口中學校付屬ノ地所トシ同時ニ地方  
 稅經濟ニ屬セリ其時ハ明治十二年頃ナリ○二十四番(川邊時也君)曰十六番(同志ス  
 ○四十二番(赤穴麟郎君)三十五番(秋良貞臣君)共ニ諸問ノ通リキ可トス○十三番(田

取清平君曰諮問ノ通ヲ可トス當置委員ノ意見モアリシガ今日ハ本省ノ所管ニテ賣渡ハハ難キモ交換ナレハ叶フトノコナレハナリ○三十一番(長尾三輔君)曰十六番ニ同意○四番(本間徳三郎君)曰十六番ヲ賛成ス理由ハ十三番ヨリ述ベテハ須リ昨日モ當局者ニ問ヒタルニ文部省ノ派出官并ニ校長ニ聞キタキモ逕行シ賣フコトハ難カルヘシトナレ共未タ公然其手續ヲナシタルコトアラサズシテ且派出官モ其成否ヲ確知セヌトナリ大体賣渡ス可トス交換地モ將來事業ヲ起スヘキ見込アル土地ニモアラサズ賣渡シハ願主モ却テ礙ル所ナラフ併ニ若シ賣渡ハ出来ストナレハ第二ニ於テ交換スルコトハスヘシ○八番(世良徳壽君)○十九番(美柳龍彦君)共ニ十六番ニ同意ス○四十七番(三井忠三君)曰諮問ノ通ヲ可トス文部省ノ方針ヲ考フルニ賣渡ヲ減スルハ該省ノ好マサル所ニシテ斷乎トシテ許可セサルヘシ依テハ見込ノ立テタル方ニ從フテ可トス

議長(雜賀敬二郎君)曰採決スヘシ十六番ノ説ニ同意ノ諸君ハ起立

起立 十八

四番 五番 八番 十六番 十九番 廿三番 廿四番 廿五番 廿七番 三十

一番

乃チ少數ニテ消滅ス

諮問ヲ可トスルノ説

起立 二十三人

不起立者 四番 五番 八番 十六番 十八番 十九番 廿三番 廿四番 廿

五番 廿七番 三十一番

議長(雜賀敬二郎君)曰過半数ナルニ依リ諮問ノ通リニ可決ス

議長(雜賀敬二郎君)曰諮問ニ件共二讀會ヲ終ヘタニカ此三讀會ハ明日ニ議ハスカ今日

午後引續キ議了スルカ

○四十二番(赤穴晴郎君)曰午後引續キ議了セシメタレシ○三十五番(秋良貞吉君)○二

十一番(河野郁太郎君)共ニ四十二番ヲ賛成ス

議長(雜賀敬二郎君)曰別ニ意見ナクシテハ午後引續キ議スヘシ正午ナレハ讀版ノ爲メ退

[Faint, mostly illegible text in the right-hand page, possibly bleed-through from the reverse side.]

七月廿八日

午後一時十分開會

午後二時閉會

出席二十七人

議長(雜賀殿二郎君)曰只今ヨリ第四號國道修築改修事業延期諮問ノ第三議會ヲ開ク○書

記諮問案ヲ朗讀ス

諮問

第四號國道線中改修事業延期ノ件

第四號國道線縣下玖珂郡岩國町ヨリ同郡玖珂村ニ至ルノ間道路改修ハ過シ明治廿三年  
通常議會ノ諮問ヲ經テ來廿六年度ヨリ五ヶ年繼續事業トシ之ニ對シ國庫補助ヲ主務  
大臣ニ請求セ置ケリ然ルニ本年六月法律第四號ヲ以テ鐵道敷設法ヲ發布センレ山陽道  
線ハ其第一期敷設ノ部ニ編入セラルヲ以テ今ヤ該國道ヲ急ニ改修スルモ他日鐵道敷設  
ニ當リ其線路ノ如何ニ依テハ或ハ交互雜經レ或ハ兩路併行セ節角互補ノ工費ヲ投シテ  
其改修ヲ却テ其効用甚ク薄ク通行不便ヲ成スル等ノ結果ヲ察サンモ亦測ルヘキヲスル



テハ右改修事業ノ管分之ヲ延期ニ追テ編置線路確定ノ上迄暫ク決案ヲ立テ更ニ縣會ニ附議セシトス

○三十一番(長尾三輔君)曰二讀會ニ於テ四番ノ擧出セザル以テ本會ヲ説トナヌ本  
議ハ到底當爲ノ弊ル、所トナクヤルヲ豫知スレバ此議ヲ以テ人民ノ幸福ヲモテ信ス  
レハ一回二讀會ノ所論ヲ補ハシ欽明寺村ノ峻險ハ岩國ト玖珂縣邊トノ交雜ヲ姑ク物  
賃ノ運搬交通ノ不便云フヘカラス一年延期ニ置ケル其間ニハ狹道路線ニ目的立ツヘ  
ク今之ヲ詰問案ノ如ク決スル非ハ其地方人民ハ此改修ノ成ハ廢止ニ歸スヘキヤノ空  
想ヲ起スヤモ計ラレス○二十八番(村重壽治君)曰三十一番ヲ賛成ス○四十番(多根  
辨介君)曰原案ヲ可トス理由ハ二讀會ニ於テ陳辨ヲタレハ今爰ニ論述セヌ○十三番  
(田原清平君)曰三十一番ヲ賛成ス併シ敗テ期セテ之ヲ賛成スルハ越後戰爭當年ノ勇  
氣ヲ起セルナリ費金ハ出來ルコトニ極マリ居ルヲナレハ地方ノ民情ヲ推量ス○四十  
二番(赤穴麟郎君)曰原案ヲ可トス三十一番ノ説ハ彼レ自ラ其敗テ期ス各位二讀會ニ  
於テ原案ニ可決シ價ガニ一二時間ヲ經テ今其議論ヲ變スルカ如キヲアラサレヘ○

二十四番(川邊時也君)曰三十一番ヲ賛成ス本會ハ二讀會ノ意見ヲ變セサルナリ○十  
一番(林達之允君)二十六番(渡邊新君)共ニ三十一番ヲ賛成ス○二十一番(河野郁大  
鶴君)曰原案ヲ可トス既ニ反對ノ説議題トナリタレハ今補説一番スヘシ十三番ノ説ニ  
敗テ期シテ賛成スルハ地方人民ノ情ヲ察スト云ヒシガ原案説ト雖モ決シテ地方人民  
ノ情ヲ察セサレモ非ラス能日體恤ノ爲ノニ横斷セラレハ横斷併行シテ危險ノ恐ア  
ラシトナシ能クナリ危險ノ害ヲ避ケルモノナリ○三十一番(長尾三輔君)曰一回前説ヲ補フ議道ト  
爲ノニ人ノ危害ヲ避ケルモノナリ○三十一番(長尾三輔君)曰一回前説ヲ補フ議道ト  
國道トハ衝突セサレヘキヲ信ス今改修ノナクサルト知ラハ其地方人民ハ皆落膽セン  
○議長(雜賀敬二郎君)曰最早論旨尽キタリト認ムレハ採決セン三十一番ヲ賛成ノ議  
君ノ起立

起立 十八

- 四番 八番 十一番 十三番 十六番 二十四番 二十六番 二十八番 三十
- 一番 三十九番

少數ヲ清滅ス

議長(鎌賀敬二郎君)曰證開業賛成ノ請君ハ起立

起立 十七人

不起立 四番 八番 十一番 十三番 十六番 二十四番 二十六番 二十八番 三十一番 三十九番

議長(鎌賀敬二郎君)曰原案ヲ決定ス

議長(鎌賀敬二郎君)曰山口高等中學校用土地交換ノ件證開ノ第三類會ヲ開テ○書記證

開案ヲ閉議ス

證開

山口高等中學校用土地交換ノ件

吉敷郡上宇野分村字靜間山第貳百八拾七番

一畝炭林六千五百貳拾八坪

同郡同所第貳百八拾八番

一柴草山千百坪

以上山口高等中學校附屬地元山口中學校ノ分引繼

吉敷郡上宇野分村字平遠寺第貳百八拾三番

一四百四拾六坪

以上山口高等中學校敷地同校成立後買入

合計八千七拾四坪

右交換地

吉敷郡山口町大字後河原町第貳千貳百三拾番字松橋

一四千叁百九拾壹坪壹合七勺

但縣廳用地トシテ買入ノ内不用ノ部分賣テ拂下ノ分

持主私立防長教育會長毛利元徳

今般難關必要出來ノ題ヲ以テ前記山口高等中學校用地ノ内八千七拾四坪ノ地所全留セ  
ツキ同中學校門前私立防長教育會所有土地四千叁百九拾壹坪壹合七勺ヲ以テ交換方私

立町長教育會長毛利元徳ヨリ請願セリ右山口高等中學校ハ元縣立山口中學校ノ制ヲ改メ明治十九年勅令第六十六號請願學校適則第一條ニ依リ同二十年四月ヨリ文相大臣ノ管理ヲ請ヒ歸來同省ニ於テ管理ヲ該土地ハ現今同高等中學校ノ所有ニ属セリ然レモ管理ヲ止ムニ場合ニ於テハ本縣ニ交付スヘキ管理修項中ノ約スル所ナルヲ以テ該校所有ノ土地ハ始終本縣地方税經濟所屬ニ因縁スルモノナリ依テ文部省ニ於テ管理上支支リナキニ於テハ該請願ヲ容レ交換方ノ手續ヲ履行セントス

○二十六番(渡邊新君)曰原案ヲ可トス○十六番(刀南勘三君)曰二讀會ヨ於テハ修正職ヲ提出シ其レモハ賛成者モアリカ今會ニ於テハ大勢ノ動カスヘカウカト見テ這價ナカフ甲ヲ脱セテ軍門ニ降服ス○十三番(田原清平君)曰原案ヲ可トス○四十二番(赤穴駒範君)曰原案ヲ可トス併セテ採決ヲ望ム○議長(雜賀敬二郎君)曰採決ス

諮問案賛成ノ諸君ハ起立

起立 全員

議長(雜賀敬二郎君)曰諮問案ニ決定ス

議長(雜賀敬二郎君)曰是ニテ當臨時會ニ發付ノ議案諮問案ハ何レモ議了權定セリ依テ今コリ閉場ス

七月廿九日

午前十一時一回入場○議長(難波政二郎君)曰昨日定議了ル決議書出来セタレハ  
一番ヨリ順次之ヲ捺印セテ○各員順テ捺印ス了テ議長議員書記例ノ如ク石  
卓ニ前ニシテ立ス次ニ書記官以下關係官卓左ニ列ス知事來テ卓ノ前ニ立テ議長  
進シテ請決書及請開答申書ヲ知事ニ呈シ知事之ヲ受テ議員ヲ勞ヒ俾セテ閉會ヲ告テ

臨時議會議事録終